

学習指導案形式例【R7 体育・保健体育科】
 (群馬県教育委員会 健康体育課)

体育・保健体育科 学習指導案
 単元名「○○○○○○○○○○○○○○○○」【学指要領：A、○学年、ア】
 令和○年○月○日(○) 第○校時 体育館
 ○○立○○学校 ○年○組 ○名 指導者 ○○ ○○

【学指要領】
 ・学習指導要領解説における領域や当該学年、内容等を、記号で記述する。

【単元の目標】
 ・学習指導要領で示された各教科等の内容を基に、**単元を通して育成を目指す資質・能力**を記述する。

I 単元の構想
 1 単元の目標及び児童(生徒)の実態

	目 標	児童(生徒)の実態
知識及び技能		
思考力、判断力、表現力等		
学びに向かう力、人間性等		

【児童(生徒)の実態】
 ・前単元までの学習や系統性を踏まえ、**本単元の目標との関わり**から、実態を簡潔に記述する。
 ※原則として、前単元、同系統、生活経験 等
 ・「～ができない。」といった否定的な記述のみは避け、児童生徒の実態を肯定的に捉え、「～については理解している。」のように、プラス面を記述する。

【評価規準】
 ・「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」(国立教育政策研究所)を参考にし、作成をする。その際、「内容のまとまりごとの評価規準」から、各単元におけるバランスや実施する単元の内容と照らし合わせ、各観点の評価規準を選択する。
 ・**中学校体育分野では、知識・技能を分けて記述する。**

2 評価規準

知識・技能 ※	※中学校保健体育科体育分野については、知識と技能を分けて記載する ① ②
思考・判断・表現	① ②
主体的に学習に取り組む態度	① ②

【評価の計画】
 ・単元の評価規準に照らし、各単位時間の評価の観点を、絞り込んで位置付ける。
 ・「知識を習得した上で、技能を身に付ける」や「知識や技能を活用して、思考力・判断力・表現力を身に付ける」など、**指導と評価の関連を図り、1単位時間の評価項目は1～2つにし、3観点の評価規準の数字をバランスよく配置する。**
 ・体育・保健体育科(運動領域)においては、毎時間の形成的評価の積み重ねの結果、単元の最後に、記録に残す「総括的評価」を行うことから、「評価に用いる評価」は設定しないこととする。
 ・各教科等の評価の表し方や考え方、観点の位置付けについては「群馬県教育委員会『指導と評価の一体化の充実に関する資料』(各課発行・提供資料 義務教育課)」を参考にし、工夫して示す。

【指導の計画】
 ・(単元(題材)の目標の達成につながる)「**単元の課題**」を解決するために必要な学習活動を明確にし、単位時間ごとに一文で簡潔に記述する。
 ・「つかむ」「追究する」「まとめる」過程の区切りは実線、その中を細分化する場合は点線とする。
 ※別紙として示す場合は、資料として添付し、3タイトル横に「※別紙参照」と示す。

3 指導及び評価、ICT活用の計画(全○時間：本時第○時)

時	学習活動	知	思	態
1(a).....	①		
2(b).....		①	
3(c).....			①
4			
5			
6			
*活用するコンテンツ等：(a) (b) (c)				

【活用するコンテンツ等】
 ・参観者が後に参考とできるように、学習で使用するWebのURL情報などを、(英小文字)の後に記述する。
 例 (a) <http://www.nc.gunma~~~~> 等
 ※(a)などは、指導の計画の中に位置付ける。

【単元の価値】
 ・指導者の意図に基づき設定される単元について、児童生徒の資質・能力の育成とのつながりから、その特性や必要性等を、簡潔に記述する。
 (※必要に応じて設定する)

(4 単元の価値)

